

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、新規の検査拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [25399] HPV-DNA同定《PCR法》

受託開始日

- 平成23年2月1日(火)

HPV-DNA同定：PCR法

子宮頸がんは、99%以上が高リスク型HPVの持続感染が原因となって発症するとされ、定期的な検査で未然に防ぐことができるがんと考えられています。現在、日本では年間約7,000人が子宮頸がんと診断され、約2,500人が死亡しています（国立がんセンターがん対策情報センター調べ）。

HPVはおもに性交渉によって感染するウイルスで、近年の初交年齢の低年齢化に伴い、20～30代での子宮頸がんの発症が急激な増加傾向を示し、検診の定期的な受診による早期発見の必要性が謳われています。

本検査は、欧米で広く普及している液状細胞診（LBC：Liquid Based Cytology）に用いる液状検体よりDNAを抽出し、子宮頸がん発症に関与するとされる13種類の中・高リスク型のHPV遺伝子をPCRを用い網羅的に測定する検査です。

検査要項

項目コード	25399
検査項目名	HPV-DNA同定：PCR法
検体	LBC
検体容器	SurePath又はThinPrep専用容器 ^{*1}
検体量/保存方法	LBC用採取液 1.5mL/冷蔵
検査方法	ロシュ/PCR法
基準値	検出せず ^{*2}
所要日数	3～5日
検査実施料	360点（「D023」微生物学的検査「6」） ^{*3、*4}
判断料	150点（微生物）
定価	6,000円
備考	<p>*1：液状細胞診実施済み検体を提出される場合は、コンタミネーションに十分注意し、1.5mL以上分注しご提出ください。また、その際は液状細胞診の商品名をご記入下さい。</p> <p>*2：16,18,31,33,35,39,45,51,52,56,58,59および68型の中～高リスク型HPVを検出します（型別判定はできません）。</p> <p>*3：子宮頸部細胞診の結果、ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対してHPV検査を行った場合に限り、「HPV核酸同定検査」を算定できます。</p> <p>*4：細胞診と同時に実施した場合は算定できません。算定に当たっては、厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして地方厚生局長等への届出が必要です。</p>